技術資料

諸物性

項　目	試験条件	AK材[AK・AKA・AKW]試験結果	SK材[SK・SKW]試験結果
剥離試験	180°剥離　200mm/min	3～6Kg/cm	5～8Kg/cm
耐熱性	恒温槽　50℃　168Hrs 80℃　24Hrs	外観異常なし	外観異常なし
耐湿性	恒湿槽　50℃　95%RH　168Hrs	外観異常なし	外観異常なし
耐ヒート サイクル性	[(50℃×3Hrs)→(−10℃×3Hrs) ↑　↓ (50℃・95%RH×3Hrs)]×7サイクル	外観異常なし	外観異常なし
耐蝕性	塩水噴霧試験機5%　NaCl　96Hrs	端末部に錆が見られる	端末部に錆が見られる
耐水性	恒温水槽　50℃　168Hrs	外観異常なし	外観異常なし
耐候性	サンシャインウエザーメーター　1000Hrs	僅かに退色が見られる	僅かにSUS箔の光沢低下が見られる
耐薬品性	殺虫剤・洗剤	外観異常なし	外観異常なし

お手入れ方法

●静電気によるホコリ等の付着が生じる場合があります。予めご了承ください。
●カラ拭きは、静電気を発生させますので好ましくありません。
●洗剤を使用するときは、中性洗剤をご使用ください。
●洗浄液（強酸性）や床用はくり剤（有機溶剤）は、変色や変質を起こす原因になりますので使用しないでください。

（1）アルミ箔製品（AKA、AK、AKW）

●中性洗剤で汚れをゆっくりと取り除き、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
ラッカーシンナー・ベンジン等の溶剤及びコンパウンド入りの磨き洗剤・磨き粉は表面を傷める原因となりますのでご使用を避けてください。

（2）ステンレス箔製品（SK、MB、SKW、SKWFL、SKWF）

●ステンレス建材は、メンテナンスフリーと考えられがちですが、金や白金と違って絶対に「さび」ない金属ではないため、完全にメンテナンスフリーとはいえません。適切な清掃と手入れを行うことにより、その美しさを半永久的に保つことのできる建材です。
●「汚れ」や「さび」の状態は、個々のケースによって異なります。それぞれの状況に応じて、最も適切なお手入れ方法を採用してください。
●ステンレスのサビの原因としては、異種金属の付着（もらいさび）、塩分の付着、排ガス中の有害成分の付着、洗浄薬液の付着、その他（指紋や手あか、油脂類やセメントなどの付着）などがあります。
●お手入れの実施に当っては、あらかじめ目立たない部分を使って、作用の弱いお手入れ方法から作用の強い方法へと段階を追って、いくつかの方法を試して、洗浄効果を確認してください。テストの結果、満足な結果の得られた方法で全面にわたる清掃に着手してください。
●金属製ブラシや粗い砂入りの洗剤は、きずの原因となりますので絶対に使用しないでください。
●溶剤や薬剤をご使用されるときは、事前に溶剤や薬剤の取扱説明書をお読みになりましてご使用ください。

以下に清掃方法と実例をまとめました。

① 軽い汚れの場合
水でぬらした布で拭いてください。

② 表面保護フィルムの糊残りの場合
軽度な場合は、アルコール、ベンジン、シンナー、アルコールとトルエンまたはアセトンの混合溶液（作用の弱い順）をスポンジか布に含ませて拭き取ります。この際、これらの溶剤が乾かないうちに、きれいな布でさらに拭き取ってやると、溶剤で伸ばされた糊が、ステンレス表面に残ることなく、きれいに拭き取れます。
糊残りがひどい場合は、上記溶剤の量を多くして、しばらく置いた後で拭き取るか、あるいは市販のステンレス建材用清掃薬剤を用います。

③ 手あかや指紋あとによる汚れの場合
ほとんどの場合は、中性洗剤か石鹸水で拭き取れます。これで取れない場合は、有機溶剤（アルコール、ベンジン等）を用います。有機溶剤を用いる場合は、溶剤が乾かないうちに、すぐ新しい、きれいな布で拭き取ると、汚れを単に伸ばしただけの結果にならず、良い結果が得られます。この他、市販の清掃薬剤も使用できます。いずれの場合も使用後の水洗を入念に行ってください。
また、指紋の付着が特にひどい場合は「スコッチ・ブライト™ ワイピングクロスNO.5000 ステンレス・ガラス用」等で拭き取ってください。 ※「スコッチ・ブライト™ ワイピングクロスNO.5000 ステンレス・ガラス用」は住友スリーエム（株）の製品です。

④ しみ、「もらいさび」の初期の場合
「もらいさび」の初期や、その他の原因による「さび」のごく初期のしみ程度の段階であれば、ステンレス表面自体は全く、あるいはごくわずかしか影響を受けていないため、市販の清掃薬剤のうち、初期の「さび」や汚れに有効な種類を用いることにより、ほとんど元通りの表面に戻すことができます。
適切な頻度で定期的な清掃を行えば仮に「さび」が発生したとしても、この程度の段階に留めることができ、お手入れは簡単かつ効果的で、清掃費も安くすみます。

⑤ 赤さびの場合
「もらいさび」を、そのまま長期間放置すると、ステンレス自身の「さび」に進展します。また、塩分やその他の有害成分による「さび」の場合も、そのまま放置すると、茶褐色の厚い「さび」に変わっていきます。このような状態になると、「さび」の除去は容易ではなく、除去できたとしても、表面を元の状態に保つのは困難です。したがって、このようなひどい「さび」の状態に至るまで放置せず、初期の段階でお手入れすることが重要です。
このような状態の「さび」を除去するには、市販のステンレス用清掃薬剤のうち「ひどい赤さび汚れ」用が必要となります。
これらの薬剤でも、なお「さび」が除去できない場合はあらかじめサンドペーパーやステンレスブラシなどで、ある程度「さび」をこすり落とした後、薬剤を使用すると除去しやすくなります。この場合は、ステンレス表面に、こすりきずが付くことは避けられません。清掃後、再度研磨仕上げをやり直すなどの処置が必要になります。

その他

●MB・SKW・SKWFL・SKWFは屋外使用も可能ですが、使用条件により異なりますので、必ずご相談ください。